

新連載

ひとり歩きのための
ヨーロッパの美術館

△1△



巨人・ピカソ追跡作戦〈上〉

伊藤

誠

△神戸新聞社事業部第一部長△

ピカソという名前、今では日本でもたいていの人が知っているだろう。しかし、ピカソの作品については、何となくむづかしい絵、わかりにくい絵といった先入感があつて、毛ぎらい気味の人も多いのではないか。二十世紀最大の画家ながら、まだまだ知られなさ過ぎてゐる巨人。このシリーズ、まずピカソの作品を訪ねるところから始めてみよう。

一九七五年十一月、パリのジャクマール・アンドレ美術館で「洗濯船（バテュ・ラボアール）展」という展覧会が開かれた。洗濯船といふのは、もともとセーヌ河畔につながれて、近くに住む人々が洗濯するために使つた船を指すのだが、たまたま二十世紀初頭、若い美術家や作家、詩人、評論家たちの住みついたモンマルトルのアパートのたたずまいがそれに似ていたところから、その長屋風アパートにつけられた通称である。

このアパートの住人、そしてその住人を訪ねてしばしば出入りし、ここを一種の芸術的根城にした人たちの顔ぶれは、大体次のようなものだ。ゴーギヤン、モジリアニ、バン・ドンゲン、マリー・ローランサン、アンリ・ルソー、ユトリロ、ホワシ・グリ、マチス、ブラック、

デュフィ、アボリネール、マツクス・ジャコブ、アンドレ・サルモン、ジャン・コクトー etc. 中で、最もこのアパートを有名ならしめた住人がパブロ・ピカソ。

ピカソは一九〇四年から一九〇九年の五年間、年齢にして二十三歳から二十八歳まで、このアパートに住んでゐる。絵の方は、住み初めのころが「青の時代」から徐々に「赤の時代」へ移向しつつあった時であり、途中である有名な「アビニヨンの娘たち」を発表、立体主義（キュービズム）への足がかりを作つてゐる。いわば、ピカソが「二十世紀の巨匠」として飛躍する一番重要な時期が、この「洗濯船時代」だったということが出来る。そして、ここで最初の伴侶フェルナンド・オリビエとも出会い、同棲に入った。

彼と彼女の出会いは、オリビエの手記によればまるでジユリアン・デュビエカルネ・クレール描くフランス映画の「コマを見るような（古いかな？）ふんい気だ。お互い、洗濯船の住人で一応顔見知りではあつたが、口をきいたことはなかつた。それがある夏の日、突然豪雨になって、広場にいた彼女があわてて路地へかけ込むと、そこに彼が立つてゐた。△子ネコを腕にかかえていて、笑いながらそれを私に差し出し、同時に、私の行く



ジャマル・アンドレ美術館

パリ近代美術館（左が国立、右が市立）

手をふさいだ。私は笑つた。すると彼はアトリエを見に来なったのである。やがて恋の芽生え、そして同棲。

ところで「洗濯船展」は、前記の顔ぶれを含めた、このアパートの住人、出入り人たちの当時のそれの作品、日記手紙、写真類、それにアパートの模型などを一堂に集めた展覧会で、なかなかバラエティーに富んだ内容だった。美術作品自体も、やや雑然としているものの、いろいろな傾向が平行して動いているさまが面白く、しかも一つところにひしめきながら、当時の芸術界へ雄飛しようとしていた青年たちの気概がみなぎついて、実に楽しい。しかしまた、歴史に名をとどめることになった人たちのいる半面、すでに名の消えてしまった人たちの大勢いる事実は、人間世界の厳しさやはかなさを実感させて、後々まで考え方をさせる展覧会でもあった。

そんな中で、一番ずば抜けて鑑賞者へ挑みかかってくるの

手をふさいだ。私は笑つた。すると彼はアトリエを見に来なったのである。やがて恋の芽生え、そして同棲。

「洗濯船展」は、前記の顔ぶれを含めた、このアパートの住人、出入り人たちの当時のそれの作品、日記手紙、写真類、それにアパートの模型などを一堂に集めた展覧会で、なかなかバラエティーに富んだ内容だった。美術作品自体も、やや雑然としているものの、いろいろな傾向が平行して動いているさまが面白く、しかも一つところにひしめきながら、当時の芸術界へ雄飛しようとしていた青年たちの気概がみなぎついて、実に楽しい。しかしまた、歴史に名をとどめることになった人たちのいる半面、すでに名の消えてしまった人たちの大勢いる事実は、人間世界の厳しさやはかなさを実感させて、後々まで考え方をさせる展覧会でもあった。

この「洗濯船展」へは、二十余年來の友人で、目下パリで画家生活を送っている鴨居玲児と同行した。ジャマル・アンドレ美術館は、鴨居児も未訪の美術館で、市街図を頼りに、最も近そうなメトロの駅を下りて後はテクつたのだが「ははあ、こんな所にあつたのか」というのが鴨居児の感想。時々はこの前を通つたこともあらが美術館とは気付かなかつたとか。ちょっと分かりにくいのは、正面玄関が通りに面しておらず、建て物の下の路地のような通路をくぐり抜けて、いわば裏側の中庭風の所へ出ないと美術館らしい構えに出くわさないのである。もともとアンドレ夫妻の邸宅だったのを、夫の死後、夫人がコレクションといつしょにフランス学士院へ寄贈して出来た美術館で、ふだんは十八世紀フランスとイタリア・ルネッサンスのものを常設展示しており、今

回のようないいらしい。

別企画展は珍

まことにグッ

ドタイミング

ではあつた。

パリへ行く

度に「さすが

」と思うの

は、いつも市

内の美術館数

カ所で常設以

外の特別展が

開かれている



通称「洗濯船」ピカソたちが住んだ長屋風アパート



ピカソ画「アルフレカン」<国立近代美術館蔵>

ここで（パリの美術館は近郊を合わせて約七十といわれている）短期滞在者には非常にうれしくもあり、時間的に見切れそうにない歯がゆさを感じたものだ。ちなみに、この「洗濯船展」と前後してパリで開かれた主な企画展には、グラン・パレの「ミレー展」「ジャック・ビヨン展」「スキタイ文明展」「チエコスロバキヤ十世紀美術展」オランジエリーの「マルケ生誕一〇〇年記念展」マルモッタンの「キリコ展」、ド・ラ・クロワ美術館の「ド・ラ・クロワから印象派までの風景画展」などがあつた。

ただし、時を置いて訪れるに陳列作品に幾分移動があり、特に抽象・非具象系の展示が大きく変わっていたりする。例えば、十年近く前に訪れた時、抽象・非具象の世界で日本人画家数人の作品が見られ、いささか心強さを感じたものだつたが、最近の折りは、それらの作品が全く見当たらず、少々がっかりしたものだ。（もつとも、時によつては特定の室を一時閉鎖していることがある）階段横の小さなコーナーながら三點出でていた藤田嗣治も、最近ではエコール・ド・パリの中へ一点が列んでいるだけ。現代美術の動向を知らせることが、新しい作品が時の推移にかかわらず変わらぬ価値を持ち続けるかどうか試してみることを使命としている美術館としては、常設とはいへつねに小刻みながらも動いていることが必要なのだろう。

ところで、それではパリで當時ピカソの作品が見られる所は、となるとセーヌ河畔の国立近代美術館が一番ふさわしい。ここは一九四七年六月の開館で、パリでは非常に新しい美術館。といつても、初めはパリでも歴史の古い美術館の一つであるルクサンブル美術館のコレクションを受け継いで発足したのだが、やがて印象派美術館に保管されていた現代外国作家の作品がここへ移されたり、現存作家やコレクターからの寄贈が次々とあつたり、館自体が収集に積極的に乗り出したりして、今やこの美術館は世界現代美術のメッカといつていいほど充実した内容を誇っている。流派的に言えば、野獸派（フォービズム）立体派を起点として、文字通り現代にまでつながる流れを、系統的に陳列している。主な作家を挙げると、マチス、ブランク、ドラン、デュフィ、ドニ、ビヤール、ボナール、ブラック、ピカソ、レジエ、ダリ、エルンスト、ミロ、カンディンスキイ、ルオ、シャガール、モジリアニ、スチーチン etc と枚挙にいとまがなない。ルーブル、印象派美術館とならんで、パリで見落としてならない重要な美術館である。



近代美術館前でデモる若い女流美術家たち



近代美術館前に停車している移動ギャラリー

カソはいつも一番いい陳列室をあてがわれている。(これは作者生前からのことだった) 正面入り口から入って、僚友ブラックらの立体派の小部屋を抜けた真っ正面、メインの部屋がそれだ。各時期の大作を一応そろえて約三十点。まず、だれもがのぞかなければならぬ部屋として扱われている感じだが、それだけの価値があることは言うまでもない。

この国立近代美術館、すごく見応えのあることは前記作家連中の顔ぶれだけでもわかるが(それだけに肉体的にも相當たびれるのである)ここまで来たら隣接するパリ市立近代美術館をものぞきたい。建て物自体ちょうど一対のようになつてゐるが、こちらの方は、いわば現在活躍中の美術家連の試練道場。もちろん常設展示もあるけれど、むしろパリ・ビエンナーレをはじめいろいろな団体・グループ展が次々と開かれる所で、国立とは一味

そんな中で、ピカソはいつも一番いい陳列室をあてがわれている。(これは作者生前からのことだった) 正面入り口から入って、僚友ブラックらの立体派の小部屋を抜けた真っ正面、メインの部屋がそれだ。各時期の大作を一応そろえて約三十点。まず、だれもがのぞかなければならぬ部屋として扱われている感じだが、それだけの価値があることは言うまでもない。

違う面白さがある。前衛意識の強いメンバーが多いだけに、国立と共有する館の前の広場で、出品者たちがデモンストレーションを行ない、鑑賞者を喜ばせてくれる機会も少なくない。また小ぎれいな作品展示車が入り口近くに停まつて、ミニ街頭展をやつたりもする。いずれにしても若いエネルギーが常に渦巻いている活気のある美術館だ。

「洗濯船展」を見た夜、鴨居兄と私は久しぶりの再会を祝して飲んだ。当然のことのようハシゴ。打ち上げて店を出ると、朝から霧雨もようだつたのが、かなり激しさを加えている。すでに午前二時に近く、タクシーもなかなか拾えない。ままよ、とクツツに水のしみ入るのを承知で、傘を開いて歩くことにする。そして、歩いて良かつた。まつ暗な虚空から街頭に照らされてキラキラ光りながら落ちてくる雨滴にまじり、マロニエの枯れ葉がその光りにもつれるよう次から次へと、すでにひと氣の無くなつた街路へ舞い下りてくるのである。何とも言えぬきららかな光景。いい美術展に酔い、友との酒に酔い、さらに予期せぬ雨と枯れ葉の乱舞に酔つて、その夜の締めくくりはまことに快かった。

ただし後日、鴨居兄のいわく。「あの夜歩いた相手が君でなく女性だつたらなあ」もちろん当方も、立ち場をそつくり変えて同感。「洗濯船」の面々を駆りたてた青春の気は、今も変わらずこの街にたちこめているようであれは「散りぎわの美しさ」と自覚せながら、一夜、中年男たちの血をも騒がせたようであった。

△作品以外の写真も筆者

「ひとり歩きのためのヨーロッパの美術館」は、巨人ピカソ追跡作戦へ中▽

・花の都の印象派画家ヘマネ、モネら▽

・南フランスのアトリエヘルノアール、セザンヌら▽

・マドリードのゴヤ遍歴

・ブリューゲルよ、いざこ

・オランダのピッゲンブルント、フェルメールら▽

と、次回からの企画を進めています。ご期待ください。

★神戸っ子

トラベルコーナー

神戸っ子海外旅行ご案内

★スイスでより美しく（フィッティングスクール）
<51年5月21日～6月6日>
費用／¥720,000、一
定員／10名

スイスのインターラーケンにあるデラックス
ホテル“グランドホテル”にて貴女を頭の先より
足の先まで美しく光り輝かせましょう。その後2日間はパリで休んで帰国の予定。ぜひご
参加を！



★ レオナルド・ダ・ヴィンチ（イタリア豪華客船
33,500トン）地中海の旅

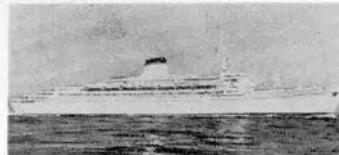
<7月6日出発。パリ、ニース、モナコに立寄り、
ジェノアより乗船>
費用／¥940,000（船室により費用が変わること
があります）

定員／10名 ファーストクラス、シャワー付
人部屋

スケジュール

7月10日 ジュノア発

7月11日 パレルモ（シシリー島）着
7月14日 マディラ着
7月15日 ラスバルマス（キャナリーアイランド）着
7月16日 カサブランカ（モロッコ）着
7月20日 ナボリ着
7月21日 ジェノア着



イタリアの豪華客船「レオナルド・ダ・ヴィンチ」

★ 関西デザイナースクール30周年記念

ヨーロッパツアー（ロンドン・パリ・ローマ）
<51年3月26日（金）～4月4日（日）10日間

費用／¥360,000

参加人員／30名

3/26 東京発→3/27 ロンドン着→3/28 パリ着
(オートクチュールのショーなど見学) 4/1

ローマ着→4/4 大阪着

現地でオプショナルツアーやフィアション・
ストリートなどの見学があります。

お問合せ、お申込みは神戸っ子トラベル係へ
TEL 078（331）2246

● 小泉パーティのご案内



1月10日「第1回小泉パーティ」会場風景

★ 結婚を希望する男女に交際の場を提供し、良きパートナーを見出すお手伝いをいたします。

★ 会員相互の理解を深め、親しみを増すための、家族ぐるみのパーティを開催いたします。

★ 結婚に関する一切のコンサルタントカウンセラーにも応じます。

● 神戸っ子愛読者トラベル・サービス

★ サンフランシスコ 6日間

6月11日～6月16日

費用／¥198,000

定員／35名

大阪→東京→サンフランシスコ→東京→大阪
<ホテルは2人一室>

★ 香港 4日間

3月18日（木）～3月21日（日）

費用／大人 A ¥88,000 B ¥96,000

エアー・オンリー ¥60,000

定員／30名

大阪→香港→大阪

全行程3食付< Aコースのみ自由行動日の昼食を除く>エクセルシオール・ホテル泊2人一室

★ ハワイ 6日間

6月22日（火）～6月28日（日）

費用／A（到着日の昼食のみ含む）¥158,000

D（全行程3食付）¥179,000

定員／45名

大阪→東京→ホノルル→東京→大阪

ホテルはアラモアナ・プリンセスカイウラニ、
モアナのいずれか。2人一室

お申し込みは神戸っ子トラベル係へどうぞ。

TEL 078-331-2246

入会金及び年会費は…

・入会金 10,000円

・年会費 10,000円

（必要に応じて調査費35,000円をお願いすることもあります）

「ごあんない」入用の方は下記までご連絡下さい。

神戸市垂合区浜辺通り6丁目3-13

ニューポートホテル1131号 ☎ 078-252-1380

小泉パーティ事務局

代表者 小泉正巳



蟹料理の店

かに料理の店



婆
婆
婆
婆

ば

さ

ら

神戸・三宮阪急西口北側ラインボープラザ
(078)321-6363

熟練の調理士が
新鮮な材料をぜいたくに使い
新しさを加味し盛りつけます。

但馬水軍船料理

かに料理

◆1・2階

かに料理の店

山海の滋味ゆたかに季節を
盛りあげます。――

□連載小説△2△

播州路

福元 早夫 元・山本 文彦

冬子が二度目のさけび声をあげたのは、彼女が播州におちついて、まる二年がたっていた。ある夜、兄ちゃん……と、悲痛な声で彼女はぼくを呼んだ。それから、しばらくなにもいわず、じっと押し黙っているのだった。

「どげんしたとよ」と、頭をかしげながらぼくは訊いた。だけどなにも応えない。

受話器をあてたぼくの耳に、すさまじい機械音がきこえる。冬子は工場の中から、電話をかけていたのだった。

「ふゆこ」と、思わずぼくは叫び声をあげた。それでも彼女は応えない。



きこえてくるのは、糸をつむぎつけ、はたを織りつけているらしい紡織機のはげしい音だけだ。それが、トタン屋根をたたく集中豪雨のようひびいてくる。受話器をあてたぼくの耳は、嵐だった。突風が吹きまくつている。ときどき、だれかがしきりに吊り鐘をたたいているような、甲高い音がまじる。とにかくものすごい騒音なのだった。

「どげんしたとよ、ふゆこ」

ぼくは叫んだ。

ころがる音にきこえてくる。ひろい鉄板の上を、夥しい小石が、とめどもなくころがりつづけているのだ。冬子のいる世界では、トタン屋根に砂利の雨が降っている。

「ふゆこ、なんかあったとか」

「……どないしたん、そんなおそろしい声をだして」

「背後から妻がいった。エプロンで手拭きながら、ちかづいてきていた。

「いや、ふゆこが……」

と、送話器に手でふたをしながらぼくはいった。

「どうも様子がおかしいんや。なにもいわんと、泣いているみたいなんや」

「あたしが話を訊いてみよか」

「いや、ちょっとまで」

ぼくは妻を制して、ふたたび受話器を耳に押しあて、冬子のいる世界に聞き耳をたてた。だけどそこは、激しい機械音だけだ。人と人の話し声などとうてい寄せつけない。よほど大声をださないとダメだ。

「ふゆこ……」

と、こんどはやや冷静にぼくは呼びかけた。そして、妻の心顔をながめながら「わしに話しくかつたら、久美子ねえちゃんとかわるうか」

といって、相手の反応をまつた。紡織機のはじきだすさまじい轟音の中で、受話器にしがみついた冬子が、なにか得体の知れないものに怯えながら、小さくうずくまっているように感じられる。ぼくは息をころしてまたた。

「……なんなんかと」

しばらくしてふいに冬子がいった。

「ほんのこつか」といって、ぼくは首をひねった。きっと何があつたにちがいないのだ。

「うん」と彼女はいった。

「なんかあったとか」

「うんにや」と彼女はいった。「ただ、兄ちゃんが声をばききたかったと」

「そうか」

「そう」

「ほんのこて、そうか」

「ほんのこて、そうよ」

「そうだったよか」

ぼくは複雑な気持でそういった。冬子は、なにか悩みを背負いこんでいるのは確かだ。だけどそれを語ることができないでいる。受話器をつかんだまま、長い沈黙の時間に、彼女は彼女自身とたたかっていたのかもしれない。ぼくはそう思つた。だから、もう深追いしなかつた。

「兄ちゃん」

と冬子が呼んだ。それから

「いちどでよかから、こちらへきて。うちの工場をば見にきて」

と、涙をぬぐつたとのようないいかたをした。

バスは須磨で、第二神明高速道路へと乗りいれた。ぼくの前座席の男は、読んでいたものを傍へなげだしていい。どうやら眠つてしまつたようだ。一人掛けの乗客はほとんどが眠つていた。ぼくもひと眠りしたいところだつたが、なぜか眠気がおそつてこない。

トンネルをくぐつた。前にも後ろにも、夥しい車だ。大型の長距離トラックがめだつ。オレンジ色のナトリウム灯が、断続して車内を照らす。ずっと先の方に、まるい出口がみえる。雨が降つてゐるから、太陽はかがやいていないのだが、それでもかなり明かるい。あそこに出口がある。という安心感がある。

トンネルの内部は全速力で突つ走るエンジンの音が、いくつものぶつかり合つてゐる。出口にむかつて、わめき合いながら走つていく。さまじい響きだ。

バスはふたたびトンネルをくぐつた。そして、大蔵谷

口をすり鉢状に降りて行き、いきおいをつけてのぼった。周囲は新しく展けた住宅地だった。山の中に高層住宅がたっていたり、色彩ゆたかな家屋がならんでいたりした。

ふたつのトンネルをくぐりぬけてきたせいか、雨足がいくぶんおとろえてきたようだ。ワイパーのうごきを、それほどいそがしいとは感じなくなつた。

ぼくは眠ろうとかんがえて眼をとじた。昨日までの勤務が、午後勤だった。仕事が終つて家に帰つくると、たいがい、夜中十二時ごろである。それから食事をとるのだ。工場での勤務の状態が三交替で、おまけに日曜も祭日も関係のない、四直三交替だから、生活が不規則になる。眠ろうとかんがえたけれど、なぜか眠気がおそつてこなかつた。

バスは高速道路を走りつづけた。ぼくはかるく目をとじ、昨夜、妻がいつたことを思いだしていた。

久美子はぼくに、冬子さんは一日も早く工場をやめて、故郷へ帰つた方がいい、いまのうちに、親元で静養しなければ、身体をすっかりこわしてしまわ、とおどすよう口調でいつたのだ。

去年のいまごろだった。冬子は三度目のさけび声をあげたのだ。そのとき、ぼくのかわりに久美子が播州へとんだ。そして妻は、冬子をぼくらのアパートへ連れてかえつた。

一週間ちかく冬子はぼくらと暮らした。すっかり痩せほそつており、食欲もない、という。ふゆこ、と呼んで、も、知らぬ顔をするときがある。耳がきこえにくくなっているのだった。顔色がきよくたんにわるく、いつも沈みこんでいる。めつたに笑顔をみせない。

妻は冬子を、医者へつれていった。生理がはじまつたら、十日も二十日も、へたをすると、ひと月ちかくも出血がとまらない、というのだ。妻のおどろきようはたいへんなものだった。

バスはスピードをこころして、三木への入口のインター

チエンジをすりおりていくところだった。車内アナウンスがあった。ぼくはほっと息をついた。

玉津警察署前ではじめてバスはとまつた。三宮を出発して、ここが最初の停留所だった。中年の男が乗りこんで、ぼくの前座席に腰をおろした。

平野橋をすぎると、車窓からの眺めは高い山だった。そしてその山の木々は、どれもこれもすっかり紅葉しきっている。ぼくは思わず目をしばたいた。そば降る小雨にぬれながら、それでも山の木々は、燃えているようあかいのだった。故郷をはなれて以来、ぼくは、山がこんなにあかく燃えるということを、あまりにも長く忘れすぎていたような気がする。

医者は冬子に、工場での昼夜二交替の不規則な仕事をやめて、もっと気楽な仕事にうつらなければだめだ、といつた。

冬子はぼくに、集団就職で一緒にやつてきた十五人の仲間のほとんどが、工場をやめていった、といい、うちもやめたいけど、といって沈みこんだ。

妻は冬子のために、あちこち仕事をさがして歩いた。だけど冬子は、うちが仕事をかわれば、故郷の母や父が心配するばかりだから、我慢をする、といった。

妻は反対だった。自分のからだは自分で守らなければだめだ、といった。ぼくはなにもいえなかつた。妻のいふおりだ、ということはわかっていたけれど、強いてそれがいえないのでつた。

神戸で生まれ、神戸でそだつた妻には、理解できないようなこころの世界が、冬子にもぼくにもある。それは、故郷だった。そしてそれは、母でもあつた。そのかたちを持たない故郷と母が、うす暗い集団就職列車にのりこんだその日から、冬子にもぼくにも、棲みついではなれないのだった。

紅葉の山間をバスは走りつづけた。ワイパーがフロントガラスをぬらすこぬか雨を、ていねいにぬぐいつづけている。前座席の二人は何かしきりに話し合つている。

玉津警察所前でのりこんできた中年の男は、同席した若い男の、上司といった感じだ。二人は仕事の打ち合わせに余念がない、といったところだった。

とつ然空間がひらけた。目の前がひろびろとした田園風景にかわったのだった。周囲は刈り入れの終つた農村地帯である。

もみがらを焼くけむりが、あちこちでたちのぼつてゐる。遠くの山々は雨にけむつて、ほのかにかすんでみえる。見るからにのどかだ。わらが小高く積まれていて、田園は収穫の終りをつげていた。

ぼくはここがなごんだ。故郷の野道を、バスに揺ら

れて、我が家へとむかつてゐるような気分になつてきたせいかもしねない。

農家の庭先に、柿の実がまっかに熟してゐた。ぼくはあらゆるものに目を凝らして、じっと窓の外をながめつづけた。農夫がひとり、ずっとむこうの畦道を歩いていた。その後を小犬が追つてゐる。

よく手入れされた菜園が目についた。土は肥えているようだつた。ふつ、とぼくは、故郷を思つた。土はガラスくずのようにキラキラ光るシラス土だ。やせてゐるぼくらの歩いた道は、シラス台地の大きく地割れた、その割れ間だつた。そして、山も深かつた。



バスは平野を走りつづけ、また山にむかつた。行手を見あげると、山の中腹を馬の親子が走っているのが見えた。どうやら、山が牧場になつてゐるようだつた。

三木へむかつてバスはふたたび紅葉の山間を走りつづけた。

三宮からのつてきた年老いた母とその娘が、三木で降りた。かわりに四人ばかりがのりこんできた。市場のあたりだつたと思う。バスは鉄道線路とならんで走るかたちになつた。どうやら、神戸電鉄が延びていのらしかつた。

小野の街をすぎたあたりから、フロントガラスをぬぐうワイパーの動きがまた気になつてきつた。雨が大粒になつたようだ。干上がつた小野大池に、白鷺が降りたつていた。夫婦なのか、恋んどおしなのか、雨に打たれてぽかんとしている。不安そうにこちらをながめていた。兄妹なのかもしれない。

社で前座席の初老の夫婦が降りた。女房の方が気が勝つてゐるのか、旦那はタラップを降りる足もとを、いちいちさしずされ、それに従つていつた。

若い女がのりこんできて、ぼくとならんだ隣りの座席に腰をおろした。二〇歳くらいに見えた。うす化粧をしで、妙にかしこまつてゐる。

冬子は二〇歳になるまでお化粧はしない、といつてゐた。工場の仲間はみんな化粧に余念がないけれど、あたしは、あわてて大人になることはないと思うの、といつてゐた。彼女が十八歳のときだつた。

社から滝野をすぎると西脇大橋だつた。そこから終点西脇駅前は、ほんのわずかだつた。終着駅の車内アナウンスがあつた。ぼくは紙袋をひきよせ、こころもち腰をうかした。前座席の二人が、たちあがつて背伸びをした。車内に安堵のため息がいくつかこぼれた。雨はいせん降りつづいてゐる。ぼくは傘をひきよせた。バスは商店街を走りぬけ、駅前広場にむかつた。

西脇の街は、まわりを山に囲まれてゐた。国鉄西脇駅

は、どことなく故郷の駅をおもわせる。まうるに山がせまつてきているのだ。雨が降つていなかつたら空が高く、風のかがやきがみえるにちがいない。

ぼくはバス待合所の公衆電話にむかつて、ダイヤルをまわした。冬子には訪ねていくことを知らせていなかつたのだ。ある日突然、といったかたちでひよいと顔をだして、冬子をびっくりさせてやろう、と思つたからだつた。だけどかんじんの冬子がどこにいるのかさっぱりわからなかつた。

「大迫冬子を呼んでほしいんですが……」

と、ぼくは電話にてた相手にいつた。しばらく待つてください、と相手の女はいつた。冬子のやつ、仕事中のかもしれない、とぼくは思つた。きょうは日曜でも祭日でもなかつた。ぼくだけが休日なのだつた。相手がでた。案の定だつた。工場の方に電話してみてください、といつた。

ぼくは受話器をおいてたばこをくわえた。それからこんどは、工場の電話番号をひとつひとつ小声で読みあげながら、ダイヤルをまわした。また女がでた。

「大迫冬子の親戚のものですが」

といつて、ぼくはひと呼吸おいた。そして

「仕事中、まことにおそれりますが」

と、見えもしない相手にていねいに頭を下げながら「ちよつと呼んでいただけませんでしようか」と頼んだ。はい、ちよつと待つてください、といつて、相手は受話器をおいたようだ。

ぼくは左手で受話器を耳に押しあて、右手でいそがしくたばこを吸つた。こころなしか緊張している。バス待合室の何人かが、こちらの様子をのぞきこんでいるようを感じる。

もしもし、と女がでた。

「ふゆこか」とぼくは叫んだ。

「わしや」と、彼女が叫んだ。

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市兵庫区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食くれない
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かっぽう 吉本
神戸市生田区加納町3丁目95-1
(ニュージャパン別館前) TEL 241-3450

鍋もの・おもすび 悟味西
お茶漬・火はな
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おもすび
鍋もの ふるる里
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼たちはばな
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 蝦夷
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 婆娑羅(ばさら)
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急西口北側レインボーブラザ1・2F
TEL 321-6363

天プラハウス 瀬戸
神戸市生田区山本通3丁目27の9
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

★西洋料理
レストラン アボロン
ティーパーラー
神戸市兵庫区八幡通5丁目6 TEL 251-3231

レストラン 鹿皮〈あらかわ〉
神戸市生田区中山手2-9 TEL 221-8547・231-3315

GALLERY &
STEAK HOUSE SAN-MON 三門
神戸市生田区中山手通2丁目98/99 TEL 331-5817

ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34 TEL 331-7168

レストラン セントジョージ
神戸市生田区北野町1丁目130 TEL 242-1234

レストラン 男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 TEL 251-2109

鉄板グリル きやんどる
神戸市生田区北長狭通2-22 TEL 331-1183

レストラン フィッシャーマンズポート
神戸港第4突堤ポートターミナル
TEL 331-0301

居酒屋 ロス・ヒターノス
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイツ
TEL 391-5431

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道 TEL 331-9554
月六段
生田区元町通3丁目 TEL 331-2108

グリル・鉄板焼
BARBECUE & STEAK
レス

スイスシャレー
神戸市生田区北野町3丁目48アニルドマンション1F
TEL 221-4343

フランス料理 ビストロドゥリヨン
神戸市生田区山本通2丁目40-1
TEL 221-2727

ピッツアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック東店
神戸市生田区栄町1-5-3 TEL 321-3207

ピザ&スパゲティ ガルの店
兵庫区琴緒町5丁目1-7 西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス グリル青山
神戸市生田区中山手通2丁目112-2(トアロード) TEL 391-4858

レストラン フック神戸店
神戸市生田区栄町2丁目24 TEL 321-3453

レストラン 元町フルーツホール
元町1番街 TEL 331-1987

ピザ・パブ ピザ・パテオ
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)
TEL 331-9378

ナレット 火の鳥
神戸市生田区中山手通1丁目27
TEL 242-1330

スカンディナビア料理
世界の民族音楽の店
ゴックスタッフ
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭
神戸市生田区中山手通1丁目4-12・パールコーゴラスビル1F
TEL 242-0043

ステーキ & ドリンク 黒牛
神戸市生田区中山手通2丁目39の36
TEL 241-3739

ドライブ 音楽レストラン
コーベ・ローレライ
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

ステーキ & ドリンク 神戸館
神戸市生田区下山手通2丁目29の3
アマツビル1F TEL 321-2955

★喫茶 宮水のコヒー
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872-231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669

北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶ガーデニア
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F TEL 321-5114

珈琲モーツアルト
神戸市生田区山本通2丁目98 グランドマンション1F
TEL 241-3961

ティーアスナック エボック
神戸市生田区元町通3丁目(浜側) TEL 331-3694

コーヒースポット メディタレーニアン
神戸市生田区北長狭通3丁目(トアロード)アーバンビルB1
TEL 331-2050

club クラブ 千
神戸市生田区下山手通り2丁目21 TEL 391-1077

club 飛鳥
神戸市生田区中山手通1丁目117 TEL 331-7627

club 小万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

club さち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

club なぎさ
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

くらぶ ぶ一げん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

club Moon Light
BAR TEL 331-0886-391-2696
Club TEL 331-0157

クラブ ふらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK スカーレット北野
お好み鐵板スナック
神戸市生田区北野町2 北野アーバンライフ1F TEL 242-0076

ドリンク & レストラン
ベルビュードール
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321-5677

スタンド かてな
生田区中山手通1丁目90 英健ビル1F
TEL 331-1316

洋酒ハウス 雜貨屋
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相模タクシー横上) TEL 321-0260

スタンド グラムール
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

スナック&ドリンク 姫
神戸市生田区中山手通1丁目18 TEL 221-1950

カクテルラウンジ サヴォイ
高架山側 テキの店北 TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
神戸市生田区下山手通1丁目32 PHONE 078-241-7320

スナック ビジービー
神戸市生田区中山手2丁目 TEL 391-4582

居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1F TEL 331-3575

Wine and something 珍地理屋
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロントン 神戸時代
生田区中山手通1丁目28
モンシャトウコトブキビル TEL 242-3567

ナイトイン おしゃれ貴族
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザB1 TEL 242-1925

スタンド くる実
生田区中山手通1の72 TEL 331-6985

キヤンティ
本店洋酒の店
神戸市生田区北長狭通2/3
tel 391-3060-391-3010

北店スープとパンの店
神戸市生田区下山手通3/8/9
tel 331-3661

DRINK SNACK スネカジリッ子
神戸市生田区下山手通2丁目
水星ビルB1 TEL 391-8708

music spot サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2丁目トアロード
北野店 生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6F tel 221-3886

素舌洞でつさん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND マシュケナダ
生田区下山手通2丁目ちいなタウン地下
TEL 331-5587

スナック GASTRO
神戸市生田区中山手通3-20
トーアマンション TEL 231-0723

ティーアバハウス バスチャーリントン
生田区北長狭通2丁目(トアロード) TEL 332-1125

純会員制 エドワーズ俱楽部
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300

サロン アルバトロス
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231)3300

CAFE 音楽の家: ETエトワTOI
WHISKY 神戸市生田区三宮町3丁目 三宮センター街西入口
スカイアビル3F TEL 332-1755

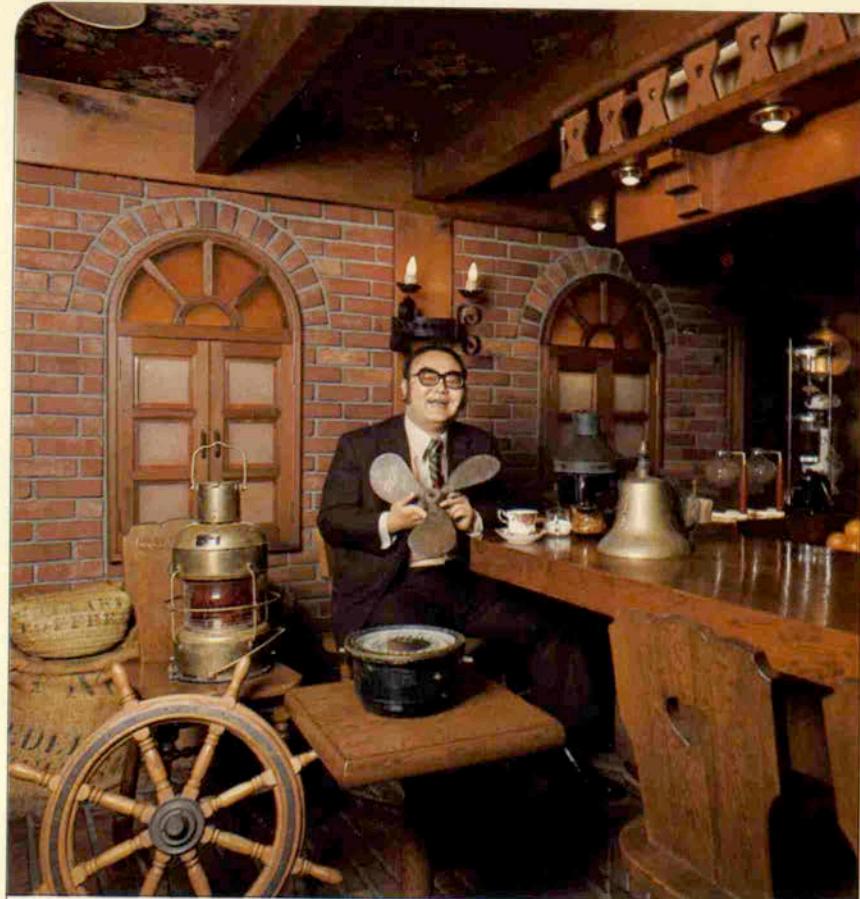
スナック 山莊
神戸市生田区北長狭通1丁目22 TEL 391-5823

ティーアカルトン
カクテルラウンジルカカルトン
生田区北野町3丁目2-67 TEL 241-4323

スナック 興志務樂亭
神戸市生田区山本通2丁目60パールライフB1
TEL 242-1977

SNACK L&M
生田区北長狭通1丁目25 生田新道ビルB1 TEL 321-3070

パブ&レストラン アップラン
神戸市生田区加納町3丁目1-34 TEL 241-8271



baLlon antique series

〈36〉船舶装備 打出谷 和夫さん

（旭洋産業株式会社代表取締役）

船関係の仕事であるが、ランプや羅針盤など、それこそ灯台下暗し、何ら関心もなかったが、あるデパートの展示に遇った時仕事の関係を通じてこれらを求めた。その時以来、手に入るものは入り、売りに出るのは売り、そうして残っているものが事務所の棚に一杯。そこには心なしか潮の香りがする。だけど普通のコレクションとちがってすべてとにかく大きくて重い。増えれば増えるほど置く場所に困ってくる。

センター街店にて
カメラ / 米田定蔵



バロニ

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00～PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00～PM 9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00～PM 9:00迄

クラブよさの 和やかな 家族パーティー

昨年12月、クラブ〈よさの〉で神戸兵庫ライオンズクラブのクリスマス家族パーティーが開かれました。

アトラクションでは東映スター伊吹吾郎の歌が雰囲気をもりあげ、家族パーティーらしい和やかで楽しいひとときでした。



クラブ ゼウスの

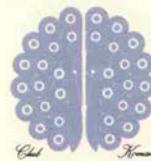


姉妹店 なぎさ

クラブ TEL 331-8626 321-1210
GRILL & BAR TEL 331-3670

神戸市生田区下山手通1丁目5(生田神社前)ゼウスビル6F TEL 391-5838・8706

ここには心の通った出会いがある――



CLUB
小万

岩本起代子

神戸市生田区中山手通1丁目85(東門筋)中島ビル3F

☎ 391-0638・4386



イギリスのパブ造りの名門ジョンロジャース社が腕によりをかけて、設計から施工まで

本格派! 英国パブ ミスター・ジャック



■ 神戸市生田区北長狭通1丁目44ノ2 (三劇前大山ビル2F)
■ TEL. 078 (332) 2128
■ 営業 P.M5時~A.M2時

● ボトル料金

ジン	…	¥2,500	サントリー〈リザーブ〉	…	¥5,500
サントリー〈角〉	…	¥3,000	サントリー〈V.S.O.P.〉	…	¥6,000
サントリー〈オールド〉	…	¥4,000	スコッチ〈ハイグ〉	…	¥6,000

● 喫茶料金

紅茶・コーヒー	…	¥300
グレープJ	…	¥400
アイスクリーム	…	¥350



ファショナブル神戸に 英国スタイルの



フレイツクパブ

ロンドン

■ 神戸市生田区北長狭通1丁目44-2 (三劇前 大山ビル3F)
■ TEL. 078 (332) 2127
■ 営業時間 P.M5:00~P.M1:00

MENU

(例)

《おつまみ》	ジン	…	¥2,500		
サラミ	…	¥300	サントリー〈角〉	…	¥3,000
チーズクラッカー	…	¥300	サントリー〈オールド〉	…	¥4,000
サンタリー〈角〉	…	¥300	カマボコ	…	¥400
サンタリー〈オールド〉	…	¥350	グリーンサラダ	…	¥400
ジンフィズ	…	¥350	サンタリー〈リザーブ〉	…	¥5,500
			サンタリー〈V.S.O.P.〉	…	¥6,000
			スコッチ〈ハイグ〉	…	¥6,000

ボトル料金(例)

Night in February



スナック & スタンド

かほる

エレガントなママかほるさんの持ち味のよく出ている店。店の特色はエレガンスということだなあ…とはある常連の弁。爽やかな感じの店だ。ロバートブラウン / キープ7,000 水割500 PM 6~AM 1

神戸市生田区中山手通1-115
東門筋ニューセンタービル3F
☎ 391-0631



ルシ

神戸市生田区北長狭通1丁目22
☎ 391-5823

20代、30代のホワイトカラーのたまり場で、底ぬけに明るくリラックスした雰囲気と楽しさはこの店ならではのものです。ロバートブラウン / キープ6,800 水割600 PM 6~AM 1 第1・3日曜定休



スナック

MASA

神戸市生田区下山手通1丁目5
☎ 391-3986

お客様とゴルフや釣りやハイキングをしたり、家庭的な横のつながりを大切にし、みんなが友だちになれる店づくりが特色です。ロバートブラウン / キープ7,000 水割500 PM 6~AM 1 日・祭日定休



スナック

ルシッド

神戸市生田区中山手通1丁目75-6
☎ 391-0651

ゴルフコンペ「ルシッド会」は2カ月に1回開催して14回になる。社長からサラリーマンまでゴルフ好きの常連が多い店です。ロバートブラウン / キープ7,000 水割500 PM 6~AM 12 日・祭日定休



PUB & RESTAURANT

UP LANDS

生田区加納町3 丁目

1-34

☎241-8271

KOBE DRINKING GUIDE

お好み鉄板スナック

スカーレット・北野

生田区北野町2 丁目

北野アーバンライフ1F

☎242-0076



DRINKING IS AN ART OF LIFE WOODHOUSE

生田区中山手通1 丁目32

山内ビル

☎241-7320・7983

RESTAURANT

SWISS CHALET

生田区北野町3 丁目48

アニルドマンション1F

☎221-4343



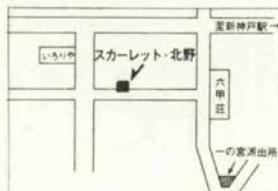
☆外は木枯しが鳴り、粉雪の舞い散る夜も「アップランド」の陽気で楽しい雰囲気は春の暖たかさ。マスターのD.A.トーマスさんはじめ店に外人客が多いのも神戸らしさのひとつです。今回はライブのご紹介。毎週土曜は、夜8時から12時までピアノの難波らの演奏とチャーリーのギターとボーカルを30分毎にやっています。他の日は月、水、金とチャーリー、火、木と難波がステキなライブをきかせています。

☆ローストビーフ￥2,700 シェーブルズバイ￥850 ステーキ&キドニイバイ￥800 コーニッシュバースティ（ミートバイ）￥600 フィッシュ&チップス￥600 J&B、OLD各￥400 ビール￥400
平日11:00A.M.～3:00A.M. 祭日6:00P.M.～3:00A.M.
日曜6:00P.M.～0:00A.M. 無休



アップランド

KOBE DRINKING GUIDE



スカーレット北野

（麻雀サロン グリーンハウス）姉妹店

☆ウッドハウスお店の人紹介第6弾

コックの宮崎さん。通称ミヤチャン。27歳。彼の趣味は賭け事。特に競馬、マージャンと来れば天下一品。その彼がちょっとやそっとの目の近さではなく、2メートル先が見えないド近眼。メガネをかけてはいいのに絶対にかけない不思議な人。目の先のパイが見えないと聞くからこっけい。ユーモアたっぷりにマージャンする楽しい人。それがミヤチャンです。一度カウンターで彼に声をかけて下さい。細い目をクリクリさせてさがしますよ。

なお、ウッドハウスでは今年1月よりキープボトルをしました。ニッカG&Gです。ぜひ1本ボトルして下さい。くわしくはウッドハウスでお聞き下さい。

☆ビール（小）￥400 水割（OLD）フィズ各￥500 おつまみ￥150
スパゲティ・ピラフ各￥500

平日5:00P.M.～2:00A.M. 日曜6:00P.M.～0:00A.M. 無休

ウッドハウス



スイスシャレー



★神戸は北野に落着いたムードと名のごとく可愛い雰囲気の御好味鉄板スナック「スカーレット北野」があります。食べるもよし……飲むもよし……気楽に楽しめる店です。その暖かなムードは人ととのつながりを大切にすることから生まれるので。いつもここを訪れる奄美大島の本場奄美大島紹の（株）丸栄商事の方々も故郷を遠く離れたここ神戸の北野に、やすらぎの場を見出し、来神のときは決って集いのひとときをもつのです。そういう心の通い合う店なのです。

★自分たちで焼いて食べる楽しい鉄板ビラミッド焼￥1,500 自信をもつておすすめするヘルステーキ(200g)￥2,800 鉄板焼￥1,000 お好み焼、そば焼各￥500 ビール、水割各￥500 ボトル/オールド￥6,000 ホワイトホース、カティーサーク、ジョニ赤￥7,000

6:00P.M.～3:00A.M.

★戸外は凍てつく寒さ。こういうときは家庭的な雰囲気の店であたたかい食事をしたいものです。“スイスシャレー”はスイス人の経営による本場のスイス料理の味わえる店です。クラシック音楽の流れる静かな店内は食事のあとのかつろぎのひとときには最適です。寒い季節には、ビーフフォンデューやチーズフォンデューが一番です。御家族づれやお友だち同士でぜひお楽しみ下さい。他にも仔牛料理、魚料理などメニューも豊富で、お値段もお手頃です。また、月曜日には貸切りのパーティを承っています。ご予算に合わせてお料理をご用意しますのでお申しつけ下さい。スイス、フランス、ドイツのワインも取り揃えております。また、今月より毎週メニューの変わるスペシャル料理を始めています。

12:00P.M.～10:00P.M. 月曜定休